

## 約半数の高齢者には 困ったとき気軽に頼める人が近所にいない

介護保険の要介護認定で在宅の一人暮らし高齢者では、「近所の人とつきあいはない」と答えた人が18%、「挨拶程度のつきあい」が29%と併せて47%、約半数の人が隣近所と助け合えるようなつきあいができていません。逆にいえば、半数強の人は困ったときに気軽に助け合えるようなつきあいができています。

介護認定にならない高齢者でもほぼ同じですので、こうした助け合えるようなつきあい方は高齢になるまでの間に形作られたものと言えるかも知れません。特徴的なのは「近所の人とつきあいはない」と答えた人が、要介護認定にならない高齢者では3%と少ないことで、要介護認定になった一人暮らし高齢者が18%と多いのは、一人暮らしのなかでひきこもりや孤立しがちになることを示しています。

